



2020年5月22日

各 位

会社名 株式会社 安楽亭  
 代表者名 代表取締役社長 柳 先  
 (コード番号 7562 東証第二部)  
 問合せ先 総務人事部 町田 英之  
 (TEL 048-859-0555)

業績予想(連結・個別)と実績値との差異および特別利益並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期通期業績予想と本日公表の実績値において、下記の差異が生じたのでお知らせいたします。また、下記のとおり特別利益、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	15,652	250	247	29	13円56銭
実績値(B)	15,344	190	190	△470	△220円19銭
増減額(B-A)	△308	△60	△57	△499	—
増減率(%)	△2.0	△24.0	△23.1	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	16,342	185	126	△103	△48円31銭

2. 2020年3月期通期個別業績予想数値と実績値との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	14,416	213	7	3円27銭
実績値(B)	13,926	106	△518	△242円64銭
増減額(B-A)	△490	△107	△525	—
増減率(%)	△3.4	△50.2	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	15,003	56	△171	△80円22銭

### 3. 差異の理由

#### (1) 個別業績の差異の理由

2020年3月期の個別業績につきましては、直営店の暖簾・FC化により直営店舗数が減少したこと、大型台風等の自然災害発生および新型コロナウイルス感染拡大の影響により一定期間来客数が大幅に落ち込んだこと等を受けて、売上高は前回公表予想を下回る結果となりました。利益面では、原材料価格の高止まりや人件費の上昇などコスト増加の傾向が続いていることに加え、減損損失570百万円を計上したことにより、当事業年度における営業利益、経常利益および当期純利益は、前回公表予想を下回る結果となりました。

#### (2) 連結業績の差異の理由

主に、個別業績の差異発生に伴う差異であります。

### 4. 特別損益の計上について

#### (1) 特別利益の計上について

下記2店舗について、閉店にあたり立退き料を受領したため、受取補償金合計125百万円を計上いたしました(連結・個別)。

①安楽亭与野本町店 25百万円(2019年9月17日付)

②安楽亭西早稲田店 100百万円(2020年3月13日付)

#### (2) 特別損失の計上について

収益性の低下により減損兆候が認められた一部店舗の固定資産に関して、合計570百万円の減損損失を計上いたしました(連結・個別)。

以上